

## 連結貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

自治体名:大間町

会計:全体会計

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	15,371	固定負債	6,616
有形固定資産	12,218	地方債等	4,667
事業用資産	7,467	長期未払金	50
土地	601	退職手当引当金	425
立木竹	-	損失補償等引当金	-
建物	14,768	その他	1,475
建物減価償却累計額	-8,861	流動負債	815
工作物	815	1年内償還予定地方債等	605
工作物減価償却累計額	-507	未払金	44
船舶	2,609	未払費用	-
船舶減価償却累計額	-2,374	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	38
航空機	-	預り金	-
航空機減価償却累計額	-	その他	129
その他	-	負債合計	7,432
その他減価償却累計額	-	【純資産の部】	
建設仮勘定	415	固定資産等形成分	16,042
インフラ資産	4,251	余剰分(不足分)	-7,037
土地	3	他団体出資等分	-
建物	263		
建物減価償却累計額	-115		
工作物	17,558		
工作物減価償却累計額	-13,487		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	29		
物品	1,330		
物品減価償却累計額	-830		
無形固定資産	68		
ソフトウェア	62		
その他	6		
投資その他の資産	3,085		
投資及び出資金	59		
有価証券	0		
出資金	59		
その他	-		
長期延滞債権	239		
長期貸付金	900		
基金	1,899		
減債基金	-		
その他	1,899		
その他	-		
徴収不能引当金	-13		
流動資産	1,020		
現金預金	312		
未収金	35		
短期貸付金	-		
基金	671		
財政調整基金	618		
減債基金	53		
棚卸資産	4		
その他	-		
徴収不能引当金	-2		
繰延資産	46	純資産合計	9,005
資産合計	16,437	負債及び純資産合計	16,437

※表示単位未満を四捨五入しているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

四捨五入による金額齟齬は斜体で表示しています。

## 連結行政コスト計算書

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

自治体名:大間町

会計:全体会計

(単位:百万円)

科目	金額
経常費用	5,800
業務費用	2,787
人件費	548
職員給与費	479
賞与等引当金繰入額	38
退職手当引当金繰入額	-32
その他	64
物件費等	2,089
物件費	956
維持補修費	209
減価償却費	924
その他	-
その他の業務費用	149
支払利息	46
徴収不能引当金繰入額	14
その他	89
移転費用	3,013
補助金等	2,737
社会保障給付	272
その他	3
経常収益	254
使用料及び手数料	161
その他	92
純経常行政コスト	5,546
臨時損失	0
災害復旧事業費	-
資産除売却損	0
損失補償等引当金繰入額	-
その他	0
臨時利益	19
資産売却益	19
その他	-
純行政コスト	5,527

※表示単位未満を四捨五入しているため、内訳と合計が一致しない場合があります。  
四捨五入による金額齟齬は斜体で表示しています。

## 連結純資産変動計算書

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

自治体名:大間町

会計:全体会計

(単位:百万円)

科目	合計			
	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	9,481	16,455	-6,974	-
純行政コスト(△)	-5,527		-5,527	-
財源	5,051		5,051	-
税金等	3,132		3,132	-
国県等補助金	1,919		1,919	-
本年度差額	-477		-477	-
固定資産等の変動(内部変動)		-414	414	
有形固定資産等の増加		974	-974	
有形固定資産等の減少		-927	927	
貸付金・基金等の増加		2,148	-2,148	
貸付金・基金等の減少		-2,609	2,609	
資産評価差額	-	-		
無償所管換等	0	0		
他団体出資等分の増加			-	-
他団体出資等分の減少			-	-
比例連結割合変更に伴う差額	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
本年度純資産変動額	-476	-413	-63	-
本年度末純資産残高	9,005	16,042	-7,037	-

※表示単位未満を四捨五入しているため、内訳と合計が一致しない場合があります。  
四捨五入による金額齟齬は斜体で表示しています。

## 連結資金収支計算書

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

自治体名:大間町

会計:全体会計

(単位:百万円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	4,786
業務費用支出	1,774
人件費支出	578
物件費等支出	1,165
支払利息支出	46
その他の支出	-15
移転費用支出	3,013
補助金等支出	2,737
社会保障給付支出	272
その他の支出	3
業務収入	5,082
税収等収入	3,121
国県等補助金収入	1,714
使用料及び手数料収入	156
その他の収入	91
臨時支出	0
災害復旧事業費支出	-
その他の支出	0
臨時収入	-
業務活動収支	296
【投資活動収支】	
投資活動支出	3,050
公共施設等整備費支出	951
基金積立金支出	1,183
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	916
その他の支出	-
投資活動収入	2,811
国県等補助金収入	205
基金取崩収入	1,974
貸付金元金回収収入	614
資産売却収入	19
その他の収入	-
投資活動収支	-238
【財務活動収支】	
財務活動支出	789
地方債等償還支出	609
その他の支出	181
財務活動収入	628
地方債等発行収入	628
その他の収入	-
財務活動収支	-161
本年度資金収支額	-104
前年度末資金残高	415
比例連結割合変更に伴う差額	-
本年度末資金残高	312
前年度末歳計外現金残高	335
本年度歳計外現金増減額	-335
本年度末歳計外現金残高	-
本年度末現金預金残高	312

※表示単位未満を四捨五入しているため、内訳と合計が一致しない場合があります。  
四捨五入による金額齟齬は斜体で表示しています。

## 全体会計財務書類における注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

##### ① 有形固定資産・・・・・・・・・・取得原

ただし、開始時における有形固定資産等の評価は原則として取得原価とし、取得原価が不明なものは原則として再調達原価としております。

##### ② 無形固定資産・・・・・・・・・・取得原価

ただし、開始時における有形固定資産等の評価は原則として取得原価とし、取得原価が不明なものは原則として再調達原価としております。

#### (2) 有形固定資産等の減価償却の方法

##### ① 有形固定資産（リース資産を除きます。）・・・・・・・・定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物	10年～50年
工作物	6年～60年
その他	5年～11年
物品	2年～15年

##### ② 無形固定資産（リース資産を除きます。）・・・・・・・・定額法

##### ③ リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が1年以内のリース取引及びリース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

・・・・・・・・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

#### (3) 有価証券等の評価基準及び評価方法

##### ① 市場価格があるものについては、会計年度末における市場価格をもって貸借対照表価額としております。

##### ② 市場価格がないものについては、出資金額をもって貸借対照表価額としております。ただし、出資先の財政状態の悪化により出資金の価値が著しく低下した場合には、相当の減額を行うこととしております。なお、出資金の価値の低下割合が30%以上である場合には、「著しく低下したとき」に該当するものとしております。

##### ③ 市場価格がないものうち連結対象団体及び会計に対するものについては、実質価額が著しく低下している場合には、実質価額と取得価額との差額を両者の差額が生じた会計年度の臨時損益として計上し、両者の差額を貸借対照表の投資損失引当金に計上しております。なお、実質価額が出資金の価値の低下割合が30%以上である場合には、「著しく低下したとき」に該当するものとしております。

#### (4) 引当金の計上基準及び算定方法

##### ① 徴収不能引当金

過去5年間の平均不納欠損率により計上しております。

##### ② 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

##### ③ 退職給付引当金

年度末に全ての職員が退職したとして計算した金額に、組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額を加算した額を計上しております。

#### (5) リース取引の処理方法

##### ① ファイナンス・リース取引

ア 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が1年以内のリース取引及びリース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っております。

イ ア以外のファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っております。

##### ② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っております。

#### (6) 連結資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物（資金管理及び資金運用基準において、歳計現金等の保管方法として規定した預金等をいいます。）を資金の範囲としております。

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでおります。

#### (7) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

##### ① 消費税等の会計処理

一般会計等：税込方式

水道事業会計：税抜方式

② 物品については、取得価額又は見積価格が50万円以上の場合に資産として計上しております。ソフトウェアについても物品の取扱いに準じております。

## 2 重要な会計方針の変更

該当する事項はありません。

3 重要な後発事象

該当する事項はありません。

4 偶発債務

該当する事項はありません。

5 追加情報

(1) 連結対象団体

団体（会計）名	区分	連結の方法	比例連結割合
国民健康保険特別会計	地方公営事業会計	全部連結	—
介護保険特別会計	地方公営事業会計	全部連結	—
後期高齢者医療特別会計	地方公営事業会計	全部連結	—
下水道事業特別会計	地方公営企業会計	全部連結	—
水道事業会計	地方公営企業会計	全部連結	—

(2) 出納整理期間

地方自治法第 235 条の 5 に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

(3) 財務書類の表示金額単位

記載金額は円単位で表示しています。